

平成30年度病床機能報告結果

岐阜県健康福祉部

1 病床機能の推移

- 県全体として、高度急性期の増、急性期の減、回復期の増、慢性期の減の傾向。
- 岐阜圏域：高度急性期、回復期が増加傾向で急性期が減少、慢性期が増加傾向にあったもの、H30から減少傾向。
- 西濃圏域：高度急性期が微増、急性期は減少傾向にあったものの、H30から増加傾向、回復期が減少傾向、慢性期は減少傾向にあったものの、H30から増加。
- 中濃圏域：高度急性期は増加傾向、急性期が減少傾向で、回復期は減少傾向、慢性期は増加傾向。
- 東濃圏域：高度急性期は増加傾向、急性期が減少傾向、回復期はH29から減少傾向。
- 飛騨圏域：急性期、慢性期は減少傾向で回復期は増加傾向。
- 地域の実情を踏まえた上で、さらなる回復期の充実が必要。

	機能	必要病床数			
		H28.7.1	H29.7.1	H30.7.1	H37
県全体	高度急性期	2,234	2,442	2,487	1,692
	急性期	9,446	8,808	8,391	5,792
	回復期	2,224	2,427	2,501	4,765
	慢性期	3,506	3,594	3,447	2,729
	その他	581	649	828	
	合計	17,991	17,920	17,654	14,978
岐阜	高度急性期	1,353	1,411	1,531	869
	急性期	3,843	3,579	3,278	2,757
	回復期	930	1,082	1,198	2,201
	慢性期	1,825	1,937	1,740	1,247
	その他	110	144	283	
	小計	8,061	8,153	8,030	7,074
西濃	高度急性期	304	428	305	253
	急性期	1,577	1,326	1,463	917
	回復期	400	385	366	744
	慢性期	625	613	632	516
	その他	47	97	112	
	小計	2,953	2,849	2,878	2,430

	機能	必要病床数			
		H28.7.1	H29.7.1	H30.7.1	H37
中濃	高度急性期	279	307	307	226
	急性期	1,597	1,553	1,514	902
	回復期	292	263	263	841
	慢性期	500	529	528	442
	その他	143	155	159	
	小計	2,811	2,807	2,771	2,411
東濃	高度急性期	282	280	328	236
	急性期	1,539	1,501	1,305	836
	回復期	320	386	367	653
	慢性期	326	285	336	332
	その他	271	219	240	
	小計	2,738	2,671	2,576	2,057
飛騨	高度急性期	16	16	16	108
	急性期	890	849	831	380
	回復期	282	311	307	326
	慢性期	230	230	211	192
	その他	10	34	34	
	小計	1,428	1,440	1,399	1,006

2 平均在院日数の推移

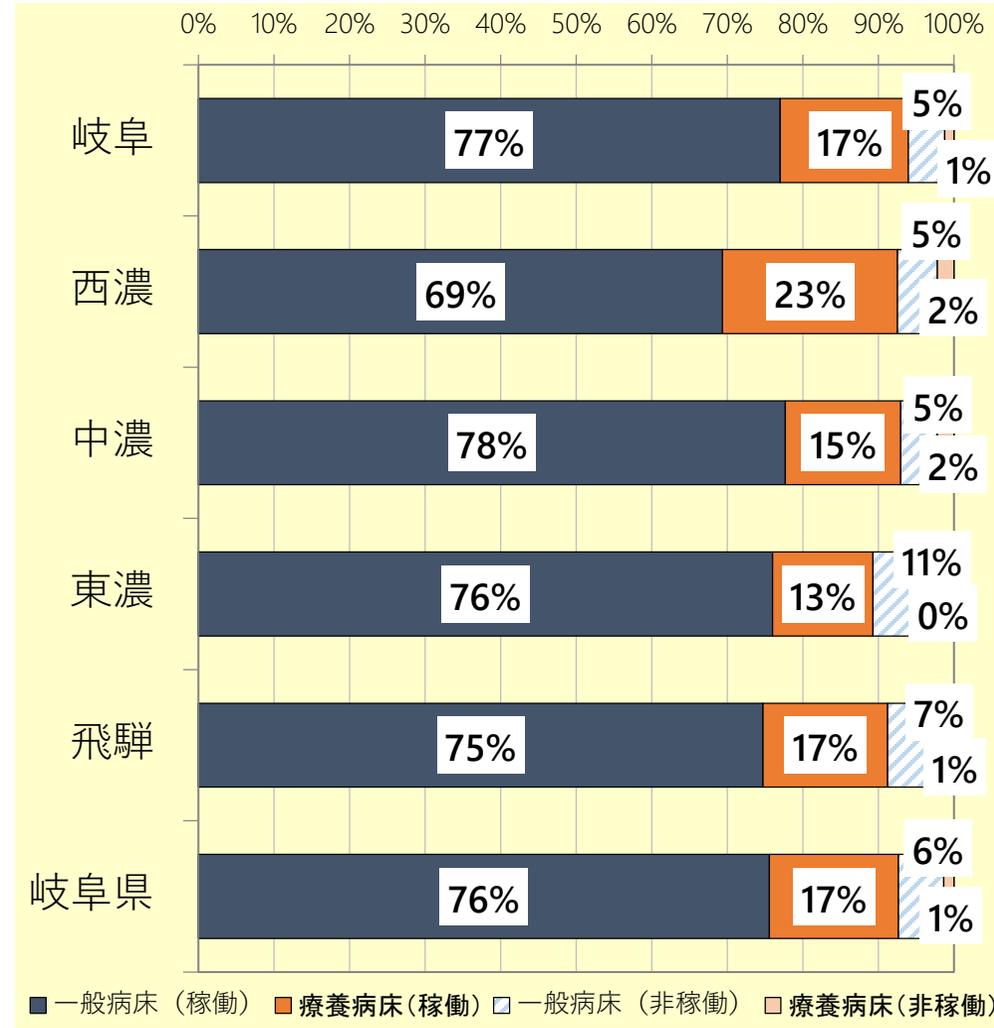
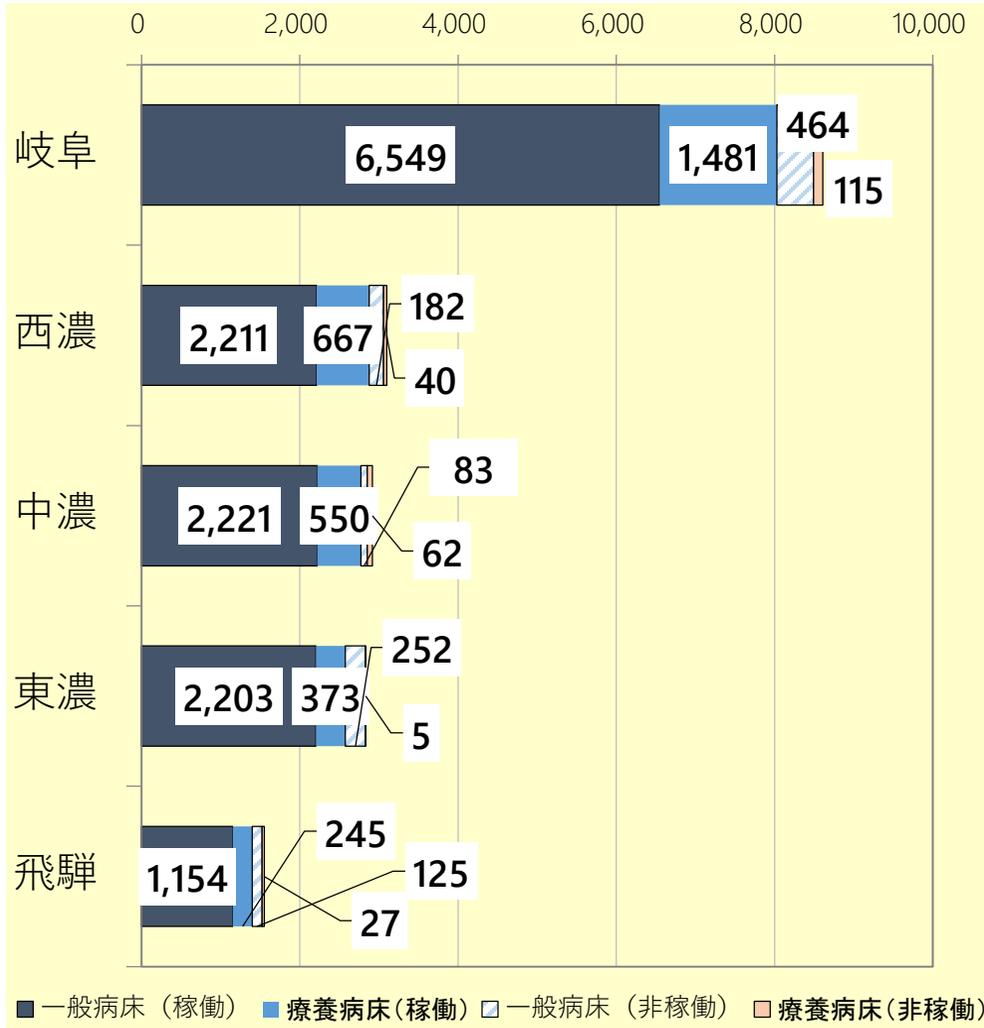
- 県全体として、H28年度と比較して、高度急性期、急性期は減少傾向。回復期、慢性期はH29年度からH30年度で増加。
- 岐阜圏域：高度急性期、急性期は減少傾向。回復期は増加傾向。慢性期はH29年度で減少したが、H30年度で大幅増加。
- 西濃圏域：高度急性期が減少傾向。急性期はH29年度で減少したが、H30年度で微増。回復期はH29年度で増加したが、H30年度で減少。慢性期はH29年度で増加したが、H30年度で減少。
- 中濃圏域：高度急性期、急性期が減少傾向。回復期、慢性期はH29年度で減少し、H30年度で増加。
- 東濃圏域：急性期、慢性期が増加傾向。高度急性期、回復期はH29年度は減少し、H30年度で増加。
- 飛騨圏域：高度急性期、慢性期が増加傾向。特に慢性期はH30年度大幅に増加。急性期は減少傾向。回復期はH29年度で増加し、H30年度で減少。

	機能	病床機能報告		
		H28年度	H29年度	H30年度
県全体	高度急性期	9.3	9.0	8.4
	急性期	12.1	11.5	11.2
	回復期	27.1	27.2	29.8
	慢性期	113.7	110.9	138.2
岐阜	高度急性期	9.8	9.5	8.4
	急性期	11.4	11.0	10.4
	回復期	22.4	23.4	28.6
	慢性期	147.1	129.9	173.3
西濃	高度急性期	9.0	7.6	6.4
	急性期	12.7	10.8	10.9
	回復期	31.7	32.2	28.0
	慢性期	101.4	102.9	98.6

	機能	病床機能報告		
		H28年度	H29年度	H30年度
中濃	高度急性期	8.9	8.7	8.6
	急性期	13.5	13.3	13.2
	回復期	32.4	27.7	32.6
	慢性期	118.6	117.4	147.2
東濃	高度急性期	9.4	9.1	10.5
	急性期	11.9	12.0	12.2
	回復期	36.3	33.9	36.3
	慢性期	46.7	46.9	64.5
飛騨	高度急性期	3.4	3.7	4.7
	急性期	11.2	10.3	10.0
	回復期	30.8	31.1	28.1
	慢性期	126.1	177.2	402.7

3-① 非稼働病床の現状

- 非稼働病床（病床単位）は、一般病床1,106床（一般病床全体の7.7%）、療養病床249床（療養病床全体の7.5%）
- 病床全体に対する非稼働病床の割合は、東濃圏域が比較的高い。



3-② 非稼働病床の現状

○非稼働病棟（過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟）の病床数は、一般病床647床、療養病床80床

圏域名	病院						有床診療所			
	一般病床			療養病床			一般病床		療養病床	
	許可病床	非稼働病床		許可病床	非稼働病床		許可病床	非稼働病床	許可病床	非稼働病床
うち、公立・公的等		うち、公立・公的等	うち、公立・公的等		うち、公立・公的等					
岐阜	5,938	176	69	1,341	0	0	611	74	140	9
西濃	1,930	60	60	630	0	0	281	53	37	3
中濃	2,055	29	0	546	60	60	166	40	4	0
東濃	2,065	170	170	318	0	0	138	19	55	0
飛騨	1,103	24	24	237	0	0	51	2	8	8
合計	13,091	459	323	3,072	60	60	1,247	188	244	20

4-① 病院の機能別概況（平均在院日数・病床利用率・入棟患者）

- 急性期・回復期の地域一般3（15対1）、回復期リハの病床利用率が80%超、それ以外の機能については70%台が大半を占め、急性期の一般4～7（10対1）、回復期の地域包括ケアの病床利用率は60%台である。
- 許可病床数の割合としては、急性期一般1～3（7対1）の割合が高い。

	許可病床数	平均 在棟日数	病床利用率	新規入棟患者の実数 (H29.7～H30.6)			構成(%)			
				院内転棟	救急	その他	院内転棟	救急	その他	
高度急性期	2,487	8.4	76.1%	83,045	49,131	16,876	17,038	59.2%	20.3%	20.5%
急性期	7,554	12.5	71.8%	160,675	73,451	31,443	55,781	45.7%	19.6%	34.7%
急性期一般1～3 (7対1)	5,186	11.7	73.5%	119,301	60,969	24,862	33,470	51.1%	20.8%	28.1%
急性期一般4～7 (10対1)	1,562	15.3	69.9%	27,685	9,395	4,133	14,157	33.9%	14.9%	51.1%
地域一般1、2 (13対1)	244	19.2	78.4%	3,810	523	916	2,371	13.7%	24.0%	62.2%
地域一般3 (15対1)	110	30.4	82.4%	1,074	181	64	829	16.9%	6.0%	77.2%
回復期	2,351	31.8	74.2%	20,131	16,280	1,540	2,311	80.9%	7.6%	11.5%
地域一般3 (15対1)	33	43.9	88.3%	242	146	2	94	60.3%	0.8%	38.8%
地域包括 ケア	1,034	24.0	67.2%	10,639	8,532	1,044	1,063	80.2%	9.8%	10.0%
回復期リハビリ テーション	1,005	56.4	81.2%	5,311	4,938	188	185	93.0%	3.5%	3.5%
慢性期	3,133	151.1	76.4%	6,087	5,564	115	408	81.0%	5.8%	13.2%

4-② 病院の機能別概況（退棟先）

○高度急性期、急性期一般1～3（7対1）、4～7（10対1）は、院内転棟、家庭復帰の割合が高い。急性期一般4～7（10対1）以降は、施設復帰の割合が高まる傾向であるため、回復期との連携が必要不可欠。

○在宅復帰率（家庭+施設）でみると、急性期77%、回復期86%だが、慢性期は50%以下となり、死亡等の割合が高いことから、在宅医療との連携が必要不可欠

	退棟患者の実数 (H29.7～H30.6)							構成(%)				
	院内転棟	家庭	転院	老健	特養・有料等	終了他	院内転棟	家庭	転院	施設	終了他	
高度急性期	81,691	25,283	49,667	2,997	281	660	2,803	30.9%	60.8%	3.7%	1.2%	3.4%
急性期	157,660	20,540	114,065	7,135	2,701	5,484	7,735	13.0%	72.3%	4.5%	5.2%	4.9%
急性期一般1～3 (7対1)	117,081	15,985	85,490	5,795	1,404	3,101	5,306	13.7%	73.0%	4.9%	3.8%	4.5%
急性期一般4～7 (10対1)	26,750	3,448	18,249	1,032	925	1,594	1,502	12.9%	68.2%	3.9%	9.4%	5.6%
地域一般1、2 (13対1)	3,814	480	1,987	143	270	532	402	12.6%	52.1%	3.7%	21.0%	10.5%
地域一般3 (15対1)	1,103	121	547	77	19	96	243	11.0%	49.6%	7.0%	10.4%	22.0%
回復期	19,394	1,068	13,833	674	1,283	1,609	927	5.5%	71.3%	3.5%	14.9%	4.8%
地域一般3 (15対1)	242	117	19	11	12	11	72	48.3%	7.9%	4.5%	9.5%	29.8%
地域包括 ケア	10,381	349	7,377	361	764	963	567	3.4%	71.1%	3.5%	16.6%	5.5%
回復期リハビリ テーション	5,274	359	3,676	258	466	463	52	6.8%	69.7%	4.9%	17.6%	1.0%
慢性期	6,475	553	1,933	359	312	618	2,700	8.5%	29.9%	5.5%	14.4%	41.7%

5 有床診療所の機能別概況（平均在院日数・病床利用率・入棟患者・退棟先）

- 病床利用率は約53%と病院と比べ低い
- 平均在棟日数も、病院と比較して短い傾向にある
- 退棟先は、急性期、回復期については、家庭が大半を占め、慢性期については、死亡等の割合が比較的高い

	病床数			平均在棟日数	病床利用率	新規入棟患者の実数 (H29.7～H30.6)	
		稼働	非稼働				急変入院
高度急性期・急性期	837	697	140	4.5	44.3%	29,577	2,545
回復期	150	150	0	12.9	54.7%	2,005	212
慢性期	314	303	11	74.9	76.8%	1,173	162
計	1,485	1,195	290	7.6	53.4%	32,755	2,919

	退棟患者の実数 (H29.7～H30.6)						構成(%)			
		転院	家庭	老健	特養・有料等	終了他	転院	家庭	施設	終了他
高度急性期・急性期	24,878	279	24,487	9	59	47	1.1%	98.4%	0.3%	0.2%
回復期	1,919	54	1,650	160	72	71	2.8%	86.0%	12.1%	3.7%
慢性期	882	69	471	58	83	201	7.8%	53.4%	16.0%	22.8%
計	24,661	282	23,544	171	190	318	1.1%	95.5%	1.5%	1.3%

6 救急車の受け入れ状況

- 救急車の受け入れは、救命救急センター等の高度急性期病床を有する病院や、急性期一般1～3（7対1）を算定する病院に集中している
- あくまでも、平成30年度病床機能報告上のデータであることに注意

岐阜			西濃			中濃			東濃			飛騨		
医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比
岐阜県総合医療センター	5,575	17.5%	大垣市民病院	10,746	63.6%	木沢記念病院	4,139	32.8%	岐阜県立多治見病院	4,945	35.1%	高山赤十字病院	2,903	47.0%
岐阜市民病院	4,793	15.0%	大垣徳洲会病院	2,304	13.6%	中濃厚生病院	3,155	25.0%	中津川市民病院	2,800	19.9%	久美愛厚生病院	1,507	24.4%
松波総合病院	3,698	11.6%	揖斐厚生病院	1,978	11.7%	可児とうのう病院	1,078	8.5%	東濃厚生病院	2,028	14.4%	岐阜県立下呂温泉病院	1,195	19.4%
東海中央病院	2,764	8.7%	西美濃厚生病院	743	4.4%	東可児病院	877	6.9%	市立恵那病院	1,570	11.1%	国保飛騨市民病院	348	5.6%
朝日大学病院	2,591	8.1%	博愛会病院	562	3.3%	美濃市立美濃病院	874	6.9%	土岐市立総合病院	1,375	9.7%	下呂市立金山病院	208	3.4%
岐阜赤十字病院	2,158	6.8%	海津市医師会病院	356	2.1%	郡上市民病院	616	4.9%	多治見市民病院	1,232	8.7%	垣内病院	12	0.2%
羽島市民病院	2,017	6.3%	新生病院	95	0.6%	太田病院	557	4.4%	国保坂下病院	141	1.0%			
岐阜大学医学部附属病院	1,369	4.3%	大垣中央病院	49	0.3%	藤掛病院	387	3.1%						
岐北厚生病院	1,225	3.8%	大垣病院	42	0.2%	鷺見病院	297	2.4%						
安江病院	1,004	3.2%	名和病院	17	0.1%	国保白鳥病院	223	1.8%						
笠松病院	758	2.4%			白川病院	176	1.4%							
岐阜清流病院	611	1.9%			関中央病院	147	1.2%							
加納渡辺病院	574	1.8%			桃井病院	58	0.5%							
近石病院	547	1.7%			八幡病院	41	0.3%							
河村病院	469	1.5%												
岐阜ハートセンター	354	1.1%												
長良医療センター	305	1.0%												
みどり病院	254	0.8%												
山内ホスピタル	222	0.7%												
操外科病院	120	0.4%												
その他	461	1.4%	その他	0		その他	0		その他	13	0.1%	その他	0	
計	31,869	100.0%	計	16,892	100.0%	計	12,625	100.0%	計	14,104	100.0%	計	6,173	100.0%

7 具体的な医療の内容 (別添参照)

H30年度病床機能報告 具体的な医療に関する項目
 ※各機能が担うと考えられる項目ごとに整理した

高度急性期
急性期

幅広い手術の実施	手術件数、全身麻酔の手術件数
	人工心肺を用いた手術
	胸腔鏡下手術件数、腹腔鏡下手術件数
がんの治療 がん・脳卒中・心筋梗塞等へ	悪性腫瘍手術件数
	病理組織標本作製、術中迅速病理組織標本作製
	放射線治療件数、化学療法件数
	がん患者指導管理料
	抗悪性腫瘍剤局所持続注入、肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入
	超急性期脳卒中加入、脳血管内手術、経皮的冠動脈形成術
	入院精神療法、精神科リエゾンチーム加算、認知症ケア加算、精神疾患診療体制加算、精神疾患診断治療初回加算
重症患者への対応	ハイリスク分娩管理加算、ハイリスク妊産婦共同管理料
	救急搬送診療料、観血的肺動脈圧測定
	持続緩徐式血液濾過、大動脈バルーンポンピング法、経皮的循環補助法、補助人工心臓・植込型補助人工心臓
	頭蓋内圧持続測定、人工心肺
	血漿交換療法、吸着式血液浄化法、血球成分除去療法
救急医療の実施	院内トリアージ実施料
	夜間休日救急搬送医学管理料
	救急医療管理加算
	在宅患者緊急入院診療加算
	救命のための気管内挿管
	体表面ペースティング法／食道ペースティング法
	非開胸的心マッサージ、カウンターショック
心膜穿刺、食道圧迫止血チューブ挿入法	

高度急性期
急性期

回復期

慢性期

急性期・在宅復帰への支援	入退院支援加算、小児加算、入院時支援加算、救急・在宅等支援(療養)病床初期加算／有床診療所一般病床初期加算
	急性期患者支援(療養)病床初期加算／在宅患者支援(療養)病床初期加算、地域連携診療計画加算(入退院支援加算)
	退院時共同指導料、介護支援等連携指導料、退院時リハビリテーション指導料、退院前訪問指導料
全身管理	中心静脈注射、呼吸心拍監視、酸素吸入
	観血的動脈圧測定、ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄
	人工呼吸、人工腎臓、腹膜灌流
疾患に合わせた早期からのリハビリテーション	経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法
	疾患別リハビリテーション料、早期リハビリテーション加算
	早期離床・リハビリテーション加算
	初期加算、摂食機能療法
	休日リハビリテーション提供体制加算
長期療養患者・重度の障害者等の受入	入院時訪問指導加算
	褥瘡対策加算
	重度褥瘡処置、重傷皮膚潰瘍管理加算
	難病等特別入院診療加算、特殊疾患入院施設管理加算
	超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算
強度行動障害入院医療管理加算	